

議会だより

な お し ま

2018 No. 182
平成 30年 1月10日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)

頌春



頑張っついてネ！ コメづくりプロジェクト「おもちつき」

明けて
おめでとう
いっしょに

議長 小林 眞一
副議長 井下 良雄
議員 松島 俊雄
西岡 裕喜
中野 善正
蓬野 清二
浜口 敏夫
石川 知久
小野 孝一
丸山 義朗

つり公園縮小(町長・教育長報告)…………… 2・3P

濱中町長出馬表明(一般質問3人が問う)…… 6・7P

私たちが直島をよくしていく
(中学生1日議会体験記) ……10・11P

がんばりよるで(地域おこし協力隊)…………… 12P

定例会)

に開催されました。対し質疑を行い、提承認、議案1件を可賛成をしました。

つり公園 縮小



濱中町長

収益は確保できる

(主なもの)

- 9月21日 三菱マテリアル(株)直島製錬所創業100周年記念鼎談が開催されました。
- 9月29日 町と県との意見交換会に県の政策部長が来庁されました。
- 10月11日 日本・デンマーク外交関係樹立150周年を記念した「直島から世界へー自然、アート、建築、地域振興の可能性を共に考える」と題したシンポジウムが開催されました。
- 11月3日 三菱マテリアル(株)直島製錬所100周年感謝祭が鷲ノ松運動公園で開催されました。
- 11月8日 中学生1日議会体験学習が開催されました。
- 11月15日 三菱マテリアル(株)直島製錬所創業100周年記念式典が高松市で開催されました。
- 11月18・19日 アイランダー2017が東京で開催されました。
- 11月19日 全国育樹祭が満濃池森林公園で開催されました。

(活性化対策について)

- 10月28日 「なおしま環境フェスタ & フードマーケット2017」を海の駅で開催しました。

主な質疑

縮小して入園者は

Q (丸山) 来年度から縮小して運営する。各種の大会を廃止すると入園者が減少すると思うが。

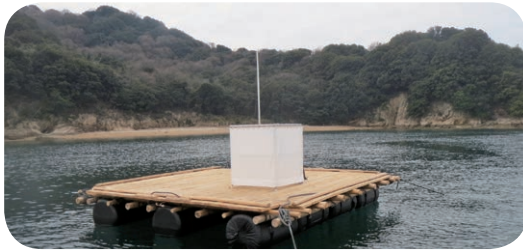
A (町長) 釣り客は減少するが、釣堀やランチ等が好調で収益は確保できる。

県への要望は

Q (蓬) 県の政策部長との意見交換で診療所の医師確保について

て要望したのか。

A (町長) 医師の派遣は今後も継続を要望した。



撤去される釣筏

質問の内容は

Q (西岡) 中学生1日議会体験の質問内容は。

A (町長) 内容は多岐にわたり、観光・船便など中学生の目線で幅広い質問があった。

参加の手応えは

Q (西岡) アイランドに参加して手応えは。

A (まち観課長) 島への移住を考えている人が真剣に相談に来た。持参したパンフレット

町民に周知しては

Q (松島) 町に関連するテレビ番組は、住民に周知すべきと思うが。

A (町長) 今後気をつけたい。

広くPRしては

Q (西岡) 環境フェスタのPRは町内



ドラちゃんたのしいネ!

だけだったのか。

A (町長) 町や観光協会のホームページで行っている。

Q (西岡) 玉野市の人はほとんど知らない。もっとPRしては。

A (町長) 県と町でアイランド推進委員会の主催だが、今後PRについて検討したい。

12月定例会が7日
町長・教育長報告に
出された報告1件を
決、意見書案1件に



原教育長

子ども座に
期待する

どうなる 婦人会

主な質疑

一般参加者が増える
検討を

Q (小野) 中学生の直島一周ごみ拾い

ツアーでは一般の方の参加が少ない。ふれあい通信ではPRしているが他に何か考えられないか。

A (教育長) 学校としては最大限のPRをしていると考えている。各種団体に働きかけるなどの余地はあると思う。



恒例になったごみ拾いツアー

婦人会の将来は

Q (松島) 最終的な結論は今後にと

き方改革について、説明

働き方改革の身は

Q (蓬) 東部教育長会で意見交換された過労死など教職員の働き方改革について、説明

A (教育長) 年度当初に婦人会に話している。落としどころと言われている。結論を出すのは婦人会であり、2月下旬ごろには最終結論が出るのではないかと。

次の目標は瀬戸芸

Q (井下) 郷土伝統芸能交流大会が直

A (教育長) 勤務実態の確な把握方法についての情報交換が主であり、解決策を探って国をはじめ皆が頭をひねっている。タイムカード利用による在校時間の把握も協議されたが、直島に赴任している教職員の場合は、島に住んでいるという特殊な事情がある。

A (教育長) 今後の開催予定については、島ホールで開催され盛会だった。今後の開催予定と今まで課題となっている後継者づくりの対策は、

(主なもの)

- 9月9日 Naoshima EGG 活動で、県内 ALT 交流会を直島ホール等で開催しました。グループチャット、直島紹介、ゲーム等で盛り上がり、非常に有意義な会となりました。
- 9月30日 中学校生徒会が、直島一周ごみ拾いツアーを実施しました。中学生39人、教職員12人、一般の方々12人の協力を得てのボランティア活動でした。
- 10月5日 東部教育長会が県合同庁舎で開催されました。県教委連絡事項のほか「教職員の働き方改革」について情報・意見交換等行いました。
- 10月10日 婦人会役員と町長・教育長などで婦人会の将来的なあり方に関する懇談会が開催されました。最終的結論は今後ということになりました。
- 11月11日 郷土伝統芸能交流大会が直島ホールで開催されました。徳島市から2座、三野町から1座、円座町から1座を迎えての大会でした。来場者は町内外から400人を超え、非常に盛会裏に終えることができました。
- 11月21日 人権・同和教育講演会が開催され、講師に元NHKアナウンサーの村上信夫氏を迎え「嬉しいことばが自分を変える」の講演でした。
- 11月28日 幼小中連絡会が開催され、町教委の示達・連絡事項は、①感染症流行への対応 ②2学期末の適切な評価・評定についてなどでした。



「子ども座」も出演 (郷土伝統芸能交流大会)



石川 委員長

盛況だった文化祭

〔総務課〕

台風警戒

○10月22日 台風接近に伴い避難所を設置。屏風島で11時間停電。

犯罪防止に

○10月31日 海の駅付近での芸術作品等への落書防止のため、防犯カメラを設置した。

Q 高潮対策で扉の閉鎖等はどうなっているのか。

A 基本は建設経済課だが、土・日やイベント開催中なども想定して早急に決定したい。

〔まちづくり観光課〕

来年の火まつりは

○10月3日 火まつり実行委員会を開催した。来年は9月1日が有力。

初めて参加

○11月11日 四国暮らしフェアが東京で開催され、当町も初めて参加した。



直島も初参加（四国暮らしフェア）

〔税務課〕

○来年の確定申告会場は役場のみで、西部公民館は取りやめる予定。○婦人会による集金業務が終了するので、口座振り込みへの変更をお願いしている。

〔教育委員会〕

教育文化祭

○11月3・4日 教育文

第1回を開催

文化祭を鷲ノ松運動公園で実施。製錬所の10周年記念行事とコラボしたため、例年の倍以上の人が来場した。

○11月11日 郷土伝統芸能交流大会を実施。町内外の7団体が参加し、来場者は400人以上

活性化対策特別

四国汽船の現況と今後のビジョンを聞く



蓬 委員長

主な内容は

○新造フェリーは、30年1月に進水式、3月中旬に就航する。

○県外から雇い入れる船員が増えたため、笠町に25部屋程度の独身寮を建設予定。

11月16日町執行部、四国汽船から会長など幹部出席のもと、四国汽船の現況と今後のビジョンについて専務より説明を受けました。

○観光客の増加を図るため、直島の事業者との連携、旅行業の登録、ツアーの企画などを考えている。

〔主な質疑〕

売店は作るのか

Q 新造のフェリーに売店は作るのか。

A 売店を作ると店員に船員保険が必要で経費がかかる。土産物などについても海の駅の観光協会との競合になるので考えていない。



あいさつする四国汽船社長



小野 委員長

つり公園 今後の運営は

11月16・17日の両日、活
開催し、各課からの現状・事業
主なもののみ報告します。

〔ふれあい診療所〕

- （平成29年4月～10月）
- 外来患者 8944人
- 一般入院 321人
- 短期入所 484人
- 泌尿器科 183人
- 時間外救急患者 225人

ワクチンの確保は

Q インフルエンザ
ワクチンが不足が
ちと言われているが、ど
の程度確保できているの
か。

A 今のところは前
年なみの数は確保
している。

〔建設経済課〕

○10月25日 四国港湾協
議会意見交換会に出
席、その後、国土交通
省他を訪問、港湾事業
における予算確保の要
望をした。

つり公園の運営は

つり公園の運営につい
ては多額の繰り入れを
行っていることから、い
ろいろと話し合われてき
たが、なかなか良い方法



ゴミ収集風景

が見つかからない。平成30
年度から釣筏は撤去し、
陸からの釣りのみとす
る。夜釣りの廃止、釣大
会をやめる等、とりあえ
ず1～2年間様子を見た
いと説明があった。

〔住民福祉課〕

○9月10日 健康福祉ま
つり

○10月5日 敬老会
○10月26日 敬老社会見
学

〔環境水道課〕

○9月5日 玉野市の建
設部長、水道課長が来

序し、直島分管管更新
工事について工事概要
の説明を受け協議した。

Q 12月30日から1
月3日までゴミ収
集が休みになる。1月4
日に大量のゴミが出て、
収集する人が困る状況に
ならないか。

A 4日は紙類と可
燃ゴミを収集す
る。大量のゴミが出る
と思うが、収集できるとい
うことでお願いしてい
る。5日からは通常の収
集業務となる。

今後のビジョンは

Q 今後のビジョン
は次回瀬戸芸に向
けた企画なのか。

A 瀬戸芸にこだわっ
ているのではなく、
アート以外で、何か直島
の事業者と一緒にできる
ものがないか、と考えて
いる。

要望が多い増便は

Q 町民から増便を
要望する声が多い

A 増便については
検討したいが、減
便は全く考えていない。

運賃の改定は

Q 30年10月から消
費税が8%から
10%に上がるが、運賃は
改定するのか。

A 消費税は上がっ
ても企業として儲
かるものではない。
むしろ、切符の変更や、
印刷など手間と費用がか
かるだけ。

季節限定を毎日こ

Q 現在、季節限定
で運航している小
型船を、毎日運航できな
いか。

A 最終便の時刻も
含めて検討したい。

住民票は移すのか

Q 新しい船員寮の
入居者は、住民票
を直島に移すのか。

A 基本的には移し
てもらおうので、人
口は増える。
など、多くの質疑が交
わされ閉会しました。



デザインはどうなる？新造船

町長 どう考えますか

3人が問いました

内容は質問者の責任において作成しています。



松島 議員

綾川町は今年10月から
琴電との連携により70歳
以上の町民が電車やバス

また当町では高齢者に
止まらず、全町民対象を
検討してはどうか。試算

を半額で利用できるIC
カードのゴールドルカ
を利用する制度を発足し
た。高松市も同様の制度
を実施している。当町で
も同様の制度を採用して
はどうか。

〔町長〕 島内経済圧迫の懸念がある
船賃補助を実施しては

A (町長) 利用者は
2千円でカードを
購入。この内500円は

に当たっては製錬所が実
施している現行、補助制
度も参考にしてはどうか。
原資は四国汽船の当町
納入税金等町費と四国汽
船の応分の協力金を充当
されたい。県内他市町が
実現出来たものが当町で
はゼロ回答は考えられな
いので、町民の皆さんが
納得できる回答を求め
る。

この方々に補助を出す

預かり金で1500円は
電子マネーとして利用で
き何回でもチャージでき
る。これは琴電の事業だ
が綾川町との協定により
実施。システム改修費と
運賃の半額を綾川町が負
担。製錬所の制度は宇野
航路の乗船券を従業員に
1枚53円で販売し家族も
利用できる。350人程
が購入している。船便利
用者の大部分は買い物、
通院、レジャーの人で、

支策を検討する。

生協や商店、ふれあい診
療所の経営に深刻なダ
メージを与えかねない。
島内施設のみ利用するし
かない人に大きく影響す
る。万一の災害で孤立し
た時、物資の調達や医療
救護の面に対応できなく
なる可能性がある。した
がってほぼゼロ回答とな
るが、本当に困っている
方がおられるようでした
ら実態調査のうえ何かの



西岡 議員

地震発生時に火災を防
ぐためには、各家庭での
初期消火が重要である。
そのためには、消火器

また消火器の使い方な
ど分からない人もいると
思うので、町・消防団・
自治会・各有志の方など
での、講習会や訓練が必

一旦火災が大きくなる
と、個人ができること
は、避難することしか
ないが、初期の段階で消火
することが極めて重要だ。



いざという時のために（診療所）

他の自治体で
は、補助制度を
設けている所も
あるが、本町に
ふさわしい制度
はどういうもの
かを十分に検討
する。
消火栓・消火
器の使い方も含
めた講習の実施
について、消防
団や自主防災会
と相談する。

消火器購入に補助を

〔町長〕 町にふさわしい制度を検討する

での消火が必要だと考え
られ、各家庭で消火器の有
無や使用期限が切れてい
る物もあると思うことが
ら、町として消火器購入の
補助金を出してはどうか。

A (町長) 地震発生
直後に停電が起き、
電気が復旧した後に傷ん
だ配線から出火すること
もあるようだ。

要だと思う。
いざ火災が発生しても
確実に初期消火ができる
と考えられ、生命を守る
ことに繋がり、類焼も防
げるのではないか。

他の自治体で
は、補助制度を
設けている所も
あるが、本町に
ふさわしい制度
はどういうもの
かを十分に検討
する。

町民のご信任がいただけるなら

次の4年も直島丸の舵取りをしたい



出馬表明する濱中町長



井下 議員

Q

濱中町長は、故濱田前町長から町政を引き継ぎ早や4年近くが経過、来春が町長選挙の年となる。

来期どうするのか。1期4年の反省と合わせ、現時点での気持ちを聞く。

A

(町長) 所信表明から①子どもの数を増やす②女性と高齢者が活躍できる町にする③町の情報化を進める。こ

この3つのテーマに力を入れてきた。

この3つのテーマは着実な成果が見られるが、短期間では結果が出ないものもある。4年の成果は町民の判断に委ねる。

来期をどうするかは、直島をもっともっと良くしたいと考えているので、町民のご信任がいただけるなら次の4年も直島丸の舵取りがしたい。

イベントサポーター 組織の立ち上げを

郷土伝統芸能交流大会は大変なにぎわいで無事終了だが、準備片付け等大変な労力があつたと思う。

このようなイベントは町職員だけではマンパワーが足りない。町内有志の若者が集まり「イベントサポーター組織」をつくってはどうか。

A

(町長) 実現すれば素晴らしいと思

うが、若者の勤務体系や考え方が異なり大変むずかしい。

しかし、マンパワーの確保は重要課題であり、イベントの魅力・集客力を向上させるのに若い力は必要だ。今後、意見やアイデアを聞いて、良い方法を考えたい。



準備・後片付けが大変です

直島ホール 運用改善を

先日、来島者が「直島ホールを見学したい」と役場にきた。そして使用料3300円を払って見学されたとのこと。

見学者には使用料ではなく、入場料等に対応すべく早急に改善策を考え

A

(町長) 今は利用目的だけで運用し



見学者対応どうする？(直島ホール)

ている。しかし、現状で良いとは思っていない。良い方法を今後検討する。

A

(教育長) 供用開始から約2年間、大きな問題は生じておらず、適切な運用だと考える。

しかし、最近見学希望や問い合わせが多く、今後の検討課題と考える。

専決処分

10月22日に行われた衆議院議員選挙に必要な経費で、県から支給されるお金と町の一般財源から出すお金の専決処分を承認しました。

● 県から支給される額

300万円追加

● 町の一般財源から出す額

82万円追加

専決処分とは

議決するために議会を招集する時間がない場合、町長が決定し、後で議会に報告し承認を求めるもの。

一般会計

◎ 歳入

● 繰越金

486万円追加

◎ 歳出

● 文教区集会所更新設

計料

486万円追加

平成29年度 予算補正

研修記

移住・定住促進を 大崎上島町に学ぶ

10月25・26日、副町長とまちづくり観光課担当者に同行していただき、広島県大崎上島町において議員研修を実施しました。

大崎上島町は広島県内唯一の離島の町で、直島とよく似ておりますが、人口は7,800人余、面積は約3倍です。移住・定住に係る様々な施策を展開



いろいろ施策の説明を受けました

しており、町の今後の取り組みの参考にするため勉強させていただきました。

大崎上島町の取り組みは、①「空き家バンク」で情報を提供し、移住希望者を町の様子、買い物・病院の案内、契約までの相談・交渉まで行っていること。②「定住促進宅地分譲事業」では平成21年度に15区画を造成、販売数は8区画のうち5区画は移住者が購入しています。さら

に③「お試し暮らし住宅」では、安い家賃で7日間から90日間暮らし、町を知ってもらおう事業で、3年間で8件13人が移住したということです。その他④民泊を利用した「体験型修学旅行」の受け入れを行い、地域の活性化・交流定住化による人口の拡大を目指しています。しかし、当町と同様、入居可能な空き家でも家財が残っていたり大幅な改修が必要、企業と人材のマッチングが難しいなど課題も多いとのことでした。

私たちの質問には、親切丁寧に答えいただき「分譲住宅地」や「お試し暮らし住宅」の現地にも案内していただきました。

町の移住・定住促進のため私たちも頑張ります。

(浜口記)



お試し暮らし住宅を視察

表彰



蓬 議員

地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰
11月20日に東京国際フォーラムで開催された地方自治法施行70周年記念式典において、蓬議員が地方自治行政に発展をもたらした功績が認められ、総務大臣より表彰を受けました。

意見書を提出

道路整備に係る補助率等の高上げ
措置の継続を求める意見書

道路は、地域経済の活性化や持続的な成長、住民の安全・安心な暮らしを支えるとともに、災害時には住民の命を守るライフラインとして機能するなど住民生活に欠くことのできない重要な社会資本の一つである。

現在、国においては「道路整備事業に係る特別措置」で規定しているがこの措置は平成29年度までの時限措置となっている。

来年度以降、この措置が後退すれば、地方創生、人口減少対策に大きな影響が生じる。

よって国においては、道路関係予算はもとより平成30年度以降も、この現行制度を継続するよう強く要望する。

(提出先)

- ・衆議院議長
- ・参議院議長
- ・内閣総理大臣
- ・総務大臣
- ・財務大臣
- ・国土交通大臣

追跡

あれ、どんなっとなん!

このコーナーは、議員が以前、一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

つり公園

海浜公園として継続

冬場の入場者が極端に少ない。大幅な赤字経営のため、冬場は完全に閉鎖するのも1つの方法だ。(平成29年9月定例会 丸山議員)

施設環境や利便性の向上を図り、さらなる集客対策を。(平成29年9月定例会 監査委員)

答 弁

来年度から運営方法を変更して継続したい。

(濱中町長)

経 過

これまでのように釣りを主とするのではなく、陸からのみ釣りができる海浜公園とする。釣堀・ランチは継続する。平成30年4月1日新体制で運営を開始し、沖の施設を撤去する。

町民や利用者へは1月からHP・広報誌等で周知する。

(平成29年11月合同委員会、建設経済課)

議会体験記

1日体験議会が開催されました。
きましたが、紙面の都合上6人の



私たちが直島をよくしていく

今回、この議会体験で議長をさせていただきありがとうございました。この体験で議長に立候補した理由は、祖父が議長をやっていて議長の役目に興味を持っていたからです。実際にやってみると、議員の方を指名したり質問の内容をよく聞いたりするなど、とても大変でした。しかし、隣にいた小林議長さんのおかげで緊張せず、とてもリラックスした状態で議長の役割をこなすことができました。

また、1日議会をしたことで、町についての改善点などを実際に目と耳で体験できとてもうれしかったです。一般質問の時は、自分が質問したことに対して中学生でも分かるような言葉を使って説明してくれてとても分かりやすい答弁でした。

私は、今回の議会体験を通して、議会が身近なものになったんだと強く感じることができました。

これからは、私たちが私たちの手で直島をよりよい町にしていかなければならないという実感が強くわきました。



堀口 雛さん

自分に何ができるのか

先日は、1日議会体験にて、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

実は私は、「何故、〇〇しないんだろう」「〇〇してくれたらいいのに」と、議会体験をするまで人ごとのように思っていました。でも実際は、「してくれない」ではなく、議会で、予算や景観、それをすることによる利益など、様々なケースを考えていることに気づきました。問題点を、しっかり討論した上で、実現へ向け、努力していることが分かり、良い経験になりました。一つのことを、一方の視野からでなく、多方面の広い視野から見るのが重要であると、よく分かりました。さらに、原教育長様がおっしゃっていた「人に何かしてもらおうことを考える前に、自分に何ができるか考える」といった言葉が、すごく印象に残りました。

この貴重な体験をもとに、今までの自分を見直して、私たちのふるさと直島に何ができるかを、自分からしっかり考えてみようと思います。



福島 優希君

自分も議員のひとりなんだ

今回の1日議会体験では様々なことを学ぶことができました。

私は直島にある遊具の設置・修繕について質問しました。この質問に対して建設経済課長さんは「月に1回点検をしているので安全です。」と答弁してくださいました。他の課長さんもしろいろな質問に対して事前に準備して下さり、丁寧に答えて下さいました。

私たちの見えない所で直島町を少しでも過ごしやすい環境にするために努力して下さっていることが分かりました。役場の方たちが少しでも私たちの意見を反映しようと行動して下さっているのがうれしかったです。

たくさんの方がいる中で的一般質問は緊張したけれど、自分も今日は議員のひとりなんだと考えて落ち着いて質問できました。

このように貴重な経験ができた事を忘れず、自分もこの直島町に貢献できることはないかと常日頃から考えて行動したいです。



眞木 美采妃さん



中学生 1 日

11月8日、第34回中学3年生
皆さんに感想文を書いていただ
生徒の文を紹介します。

答弁は丁寧で詳しかった

今回、初めて議会体験、そして議長を体験して、直島町の現状について少しでも知ることができて良かったです。故郷直島の町議会を実際に行うという貴重な体験ができ、本当に嬉しく思っています。このような貴重な体験ができる機会をつくって下さった上、質問に対する答弁を真剣に考えて下さった方々に感謝しています。

僕が、議会を体験して新しく知ったことや感じたことがたくさんありました。その中の一つが、質問に対する答弁の丁寧さです。最初、僕は答弁は割と簡単に行われるものだと思っていました。しかし、実際は想像していたより答弁が丁寧で詳しかったので、僕たちの質問に対して真剣に考えて下さっているのが伝わってきて嬉しかったです。

今回の1日議会で聞いたことや感じたことを忘れず、これからの生活に生かしていきたいです。



堀内 洋之 君

自分の夢をつかみとる努力を

今回の議会体験を通して、直島町のために何ができるか、住みやすくするためにはどうしたらよいか、ということ考えることができました。

私が質問したのは公衆トイレについてでした。その質問に教育次長さんがわかりやすく、そして丁寧に答弁して下さいました。自分の町に対しての思いを伝えることができたと思います。この議会体験学習は第34回目と聞いて長く続いている行事であることにとってもびっくりしました。これからも続けていってほしいです。

最後に、教育長さんが言われていた、自分の夢を自分でつかみ取れるよう、努力していきたいと思いました。そして、3年後の選挙で自分の意見を必ず伝えていきたいです。私たちのために時間をつくって下さったこと本当に感謝しています。ありがとうございました。



山本 陽菜 さん

町に対する思いや仕事の大変さを知った

今回の議会体験を通して考えたことが2つあります。

1つ目は、人前で自らの意見を話し、伝えることの大切さについてです。私の考えを皆様の前でお話しさせていただくことで、直島町をよく知りたいという気持ちが伝わり、また、答えてくださった皆様も一生懸命に話をしてくださったことに気がつきました。

2つ目は、私たちの知らないところで様々な取り組みや、問題点に対する対策などが行われているということです。見えない部分で支えてくださっている方々の町に対する思いや、仕事の大変さを知る良い機会になりました。今、私は中学校で公民を学んでいます。今回、より深く、そして細かく学ぶことができてよかったです。

本日は、私たちのためにありがとうございました。



菊地 倭 君



素敵な 彼女がいます!

がんばりよるで



佐々木菜奈さん

2年間京都の芸術
大学に通っていま
した。

Q 直島に生まれ
たきっかけは。

A 中学生の頃、

家族旅行で来た
時、生活の中に

アートがある場所
で働く人たちに憧

れて、働く場所を
探しにきました。

今回は「地域おこし協
力隊」でがんばりよる
佐々木菜奈さんにご登場
いただきました。

Q こんにちは。お忙し
いところ少しお話を聞
かせ下さい。

A 今年の4月からです。
いっからですか。

Q 地域おこし協力隊は
どこでどんな仕事を
されていますか。

A 観光協会の手伝いを
して、週3日は役場
のまちづくり観光課で、
週2日は海の駅の観光協
会に出動しています。

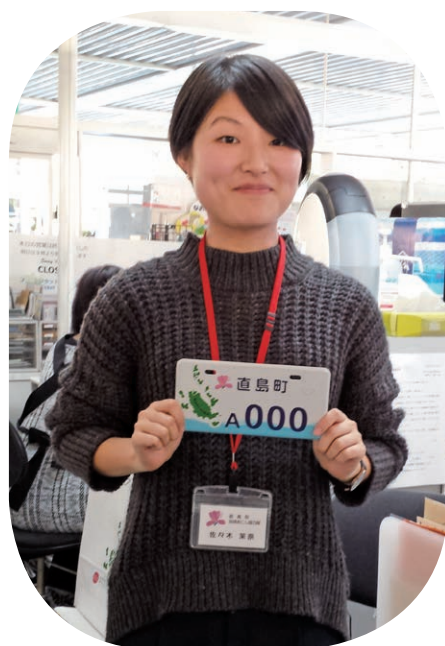
Q 最近、特にされた仕
事はありますか。

A 新しく観光ポスター
を2種類と、バイク（原
付）のオリジナルナン
バープレートのデザイン
をお手伝いしました。

Q いろいろな国や地域
の実家は倉敷市ですが、

A 実家は倉敷市ですが、

だいが仕事になれました



お手伝いしました

から観光客が来られます
が、印象に残ったことは
ありますか。

A 町民の方が丁寧に道
案内をしているところを
何回か見かけました。こ
ういう協力があつて、観
光業が成り立つのかなと
思いました。

Q 観光行政で何か、こ
うしたらいいのではと
いったことがありますか。

A 飲食店と宿泊施設の
横のつながりができたら
と思います。みんなで協
力し合って「直島」を良
い所にしていけたら素敵
だなと。

Q 最後に菜奈さん、自
己PRをどうぞ。

A 私事で恐縮ですが、
この度直島でお勤めの方
と結婚することになりま
した。これまでお世話に
なった方々には直接お伝
えすべきですが、このよ
うな報告になったことを
お許しください。今後と
もお世話になります。

Q 結婚おめでとござい
ます。これからも直島
の観光発展にご協力よろ
しくお願いします。

Q 結婚おめでとござい
ます。これからも直島
の観光発展にご協力よろ
しくお願いします。

Q 結婚おめでとござい
ます。これからも直島
の観光発展にご協力よろ
しくお願いします。

編集後記

明けましておめでと
うございます。
本年も議会だよりの
ご愛読をよろしくお願
いします。
昨年は屏風島で長時
間の停電等ありました
が、大きな災害もない
一年だったと思いま
す。町民の皆さんには、
どんな年だったでしょ
うか。

昨年の10月には衆議
院議員選挙があり、日
本の将来を決めていく
国会議員が決まってい
ました。国民が安心、安全
に暮らせる国づくりを
ぜひお願いしたい。

我が町にも人口・空
き家・空き地対策等、
多くの課題もあります
が、町民の皆さんにも
ご協力いただいで、大
切な一ふるさと・なお
しま」を盛り上げてい
きましょう。

(小野記)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 小林 眞一 |
| 委員長 | 丸山 義朗 |
| 副委員長 | 石川 知久 |
| 委員 | 西岡裕喜広 |
| 委員 | 浜口 敏夫 |
| 委員 | 小野 孝一 |
| 委員 | 蓬 清二 |
| 委員 | 井下 良雄 |